

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3148580号
(U3148580)

(45) 発行日 平成21年2月19日 (2009. 2. 19)

(24) 登録日 平成21年1月28日 (2009. 1. 28)

(51) Int. Cl.

F 1

B 6 5 D 23/12 (2006. 01)

B 6 5 D 23/12

B 6 5 D 5/52 (2006. 01)

B 6 5 D 5/52

H

評価書の請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 実願2008-8578 (U2008-8578)
(22) 出願日 平成20年12月8日 (2008. 12. 8)(73) 実用新案権者 599137312
田中産業株式会社
埼玉県さいたま市中央区本町西4-16-15
(74) 代理人 100085693
弁理士 峯 唯夫
(72) 考案者 大森 誠
埼玉県さいたま市中央区本町西4-16-15 田中産業株式会社内

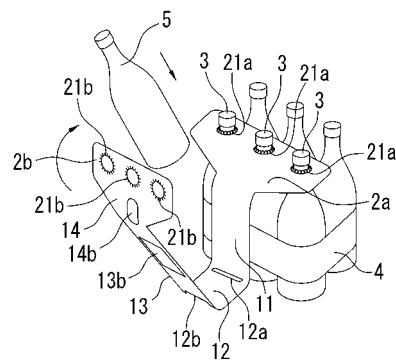
(54) 【考案の名称】 追加ボトル包装具

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】複数本セット包装されたボトル容器の側方に追加的に1本のボトル容器を包装するためのボトル容器包装具を提供する。

【解決手段】ボトル容器包装具は、複数本セット包装されたボトル3の側方に1本のボトル5を追加して包装するためのボトル包装具であって、前記追加するボトルをくるむこのできる縦長シートの一側に前記複数本セット包装されたボトル3のボトルネックに挿通される基側ボトルネック挿通孔21aが設けられ、他側に他側ボトルネック挿通孔21bが設けられ、前記他側ボトルネック挿通孔21bに、追加するボトル5のボトルネックと複数本セット包装されたボトル3のボトルネックとが挿通されるものとして構成する。

【選択図】 図2



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

複数本セット包装されたボトルの側方に 1 本のボトルを追加して包装するためのボトル包装具であって、

前記追加するボトルをくるむことのできる縦長シートの一侧に前記複数本セット包装されたボトルのボトルネックに挿通される基側ボトルネック挿通孔が設けられ、他側に他側ボトルネック挿通孔が設けられ、

前記他側ボトルネック挿通孔に、追加するボトルのボトルネックと複数本セット包装されたボトルのボトルネックとが挿通されるものとした、

ボトル包装具。

10

【請求項 2】

他側ボトルネック挿通孔は、追加するボトルのボトルネックが挿通される追加ボトルネック挿通孔と、複数本セット包装されたボトルのボトルネックが挿通される受け側ボトルネック挿通孔とに独立させて設けた、請求項 1 記載のボトル包装具。

【請求項 3】

追加ボトルネック挿通孔は縦長シート長手方向に長い長孔とした、請求項 2 記載のボトル包装具。

【請求項 4】

シートの追加ボトルの底面に当接する部分と前面に当接する部分及び背面に当接する部分との境界部分にはそれぞれ追加ボトル底部の位置を決めるための位置決め溝が設けられた、請求項 1 ないし 3 の何れか記載のボトル包装具。

20

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この考案は、複数本セット包装されたボトルの側方に追加的に 1 本のボトルを包装するためのボトル包装具に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来より、ボトル入り飲料等の販売促進のために、店頭に並んでいるボトル入り飲料の容器に消費者の関心を誘う景品等をおまけとして付けて商品販売を行う場合がある。

30

一般的に、景品には販売したい商品とは異なるもの（例えば、キーホルダーや小型の玩具など）を採用する 경우가多く、これら景品は袋などで簡易包装された上でボトル飲料のボトルネック等にぶら下げる等して取り付けられている。

【特許文献 1】特開 2002-332045 号公報

【特許文献 2】特開 2006-276888 号公報

【0003】

また、同じくボトル入り飲料等の販売促進のために、販売商品とは異なる景品ではなく、ボトル入り飲料そのものを景品として商品購入者に与えるという方法を採用するキャンペーンもあるが、かかる場合には購入商品と同じ商品を景品とするために、前述の景品の

40

ように簡単に販売商品に取り付けることが容易ではなく、会計の際に店員が景品としてのボトル入り飲料を手渡し等により購入者に渡す必要があり、店員の負担となるばかりか景品を渡すのを忘れてしまうおそれもある。

【0004】

他方、販売商品であるボトル入り飲料を景品とする場合には、景品単価が高くなるため、例えば 1/2 ダース（6 本）や 1 ダース（12 本）につき 1 本というように、所定本数以上の購入者に対象を限定してキャンペーンを行うのが通常である。

【0005】

この点、ボトル入り飲料においては 1/2 ダース（6 本）や 1 ダース（12 本）単位で各種包装具によって包装されて販売されている実情があるものの、これに追加的に 1 本の

50

ボトル入り飲料を景品として後付包装するための包装具は存在しない。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0006】

この考案は、複数本セット包装されたボトルの側方に追加的に1本のボトルを包装するためのボトル包装具を得ることを課題とするものである。

【課題を解決するための手段】

【0007】

この考案のボトル包装具は、複数本セット包装されたボトルの側方に1本のボトルを追加して包装するためのボトル包装具であって、前記追加するボトルをくむことのできる縦長シートの一側に前記複数本セット包装されたボトルのボトルネックに挿通される基側ボトルネック挿通孔が設けられ、他側に他側ボトルネック挿通孔が設けられ、前記他側ボトルネック挿通孔に、追加するボトルのボトルネックと複数本セット包装されたボトルのボトルネックとが挿通されるものとして構成する。

【0008】

この考案において、ボトルとは容器上部が容器本体よりも径の小さい筒状に形成された容器をいい、内容物を販売するための容器であれば、その用途及び材質は問わない。

複数本セット包装されたボトルとは、公知の包装具によって複数のボトルが一体的に包装されたものをいい、例えば、ボトルが横3列×縦2列のように配置された状態で一体的に包装されたものが一般的であるが、一体的に包装されていればその配置状態や一体化するための包装手段は問わない。

複数本セット包装されたボトルの側方に追加的に包装される1本のボトルは、複数本セット包装されたボトルと同サイズのボトル、若しくは、これより小さいサイズのボトルであることが好ましい。

また、この考案のボトル包装具を構成する縦長のシートは、可撓性のある柔軟な合成樹脂で構成するのが好ましい。

【0009】

基側ボトルネックの挿通孔は、ボトル包装具をセット包装されたボトルと連結するためのものである。したがって、前記挿通孔はセット包装されたボトルの少なくとも1本のボトルネックが挿通するものであればよい。しかし、安定性を考慮すると、複数のボトルネックが挿通しえる構成が好ましい。そして、複数のボトルネックが挿通しえる構成とする場合、複数のボトルネックが挿通できるような大きな挿通孔を1つ設ける態様と、1本のボトルネックが挿通する位置、大きさの挿通孔を複数設ける態様とが考えられる。後者の場合、前者と比較して挿通孔の総面積が小さくなるので、ボトル包装具の強度を高めることができる。

【0010】

他側ボトルネック挿通孔は、追加するボトルのボトルネックとセット包装されたボトルの少なくとも1本のボトルネックが挿通し、もって追加するボトルをセット包装されたボトルに固定するためのものである。したがって、前記挿通孔は追加するボトルのボトルネックとセット包装されたボトルの少なくとも1本のボトルネックが挿通するものであればよい。しかし、安定性を考慮すると、セット包装された複数のボトルネックが挿通しえる構成が好ましい。そして、追加するボトルのボトルネックとセット包装されたボトルのボトルネックが挿通しえる構成とする場合、両者のボトルネックが挿通できるような大きな挿通孔を1つ設ける態様と、1本のボトルネックが挿通する位置、大きさの挿通孔を複数設ける態様とが考えられる。後者の場合、前者と比較して挿通孔の総面積が小さくなるので、ボトル包装具の強度を高めることができる。

【0011】

追加ボトルネック挿通孔は、追加するボトルのキャップを通過できる径で形成されていればよく、その形状は丸孔、角孔その他適宜採用することができる。

追加ボトルネック挿通孔を縦長シートの長手方向に長い孔にしておくと、追加するボト

10

20

30

40

50

ルのボトルネックをこの追加ボトルネック挿通孔に挿通させつつ受け側ボトルネック挿通孔を複数本セット包装されたボトル容器のボトルネックに挿脱する際に、追加ボトルネック挿通孔が追加ボトルのボトルネックに引っかかりにくいので、容易に挿脱することができる（請求項３）。

【００１２】

追加ボトルの背面が当接する部分、底面が当接する部分、前面が当接する部分の寸法は追加するボトルのサイズに合わせて適宜選択される。

追加ボトルの底面が当接する部分と前面が当接する部分及び背面が当接する部分との境界部分にそれぞれ追加ボトル底部の位置を決めるための位置決め溝を設けておくと、ボトルを前記底面当接部分に載置する際に容易に位置決めすることができ、また、追加ボトルを保持する際にボトル底面部が前記位置決め溝に係止され、ボトルの保持状態をより安定させることができる（請求項４）。

【考案の効果】

【００１３】

この考案によれば、追加するボトルをくるむことのできる縦長シートの一側に複数本セット包装されたボトルのボトルネックに挿通される基側ボトルネック挿通孔が設けられ、他側に追加するボトルのボトルネックと複数本セット包装されたボトルのボトルネックとが挿通される他側ボトルネック挿通孔を設けたので、基側ボトルネック挿通孔を複数本セット包装されたボトルのボトルネックに挿通させ、追加するボトルをシートでくるみつつ、他側ボトルネック挿通孔に追加ボトルのボトルネック及び複数本セット包装されたボトルのボトルネックに挿通させて、１本のボトルを追加して包装することができる。

【００１４】

請求項２の考案によれば、他側ボトルネック挿通孔は、追加するボトルのボトルネックが挿通される追加ボトルネック挿通孔と、複数本セット包装されたボトルのボトルネックが挿通される受け側ボトルネック挿通孔とに独立させて設けたので、他側ボトルネック挿通孔の面積を可及的に小さくすることができ、それによりボトル包装具の他側ボトルネック挿通孔近傍の強度を高めて追加ボトルを安定よく保持することができる。

【００１５】

請求項３の考案によれば、追加ボトルネック挿通孔を縦長シートの長手方向に長い孔にしてあるので、追加ボトルのボトルネックをこの追加ボトルネック挿通孔に挿通させる際に、追加ボトルが引っかかることなく容易に挿脱作業を行うことができる。

【００１６】

請求項４の考案によれば、シートの追加ボトルの底面が当接する部分と前面が当接する部分及び背面が当接する部分との境界部分に、それぞれ追加ボトル底部の位置を決めるための位置決め溝を設けたので、ボトルを前記底面当接部分に載置する際に容易に位置決めすることができる。また、追加ボトルの保持状態においてはボトルの底面部が前記位置決め孔に係止されるので、追加ボトルを安定よく保持することができる。

【考案を実施するための最良の形態】

【００１７】

以下、この考案の実施例を説明する。

【実施例１】

【００１８】

図１は、この考案の第１の実施例を展開した状態の平面図である。

この考案のボトル包装具は可撓性を有する縦長の合成樹脂製シートからなり、追加ボトル保持部１の両端部にはボトルネック係止部２ a，２ b が設けられている。

【００１９】

追加ボトル保持部１は、ボトルネック係止部２ a 側からボトルネック係止部２ b 側にかけて順に、追加ボトルの背面当接部１ １、底面当接部１ ２、前面当接部１ ３、上面当接部１ ４とで構成され、上面当接部１ ４の略中心付近には追加ボトル容器保持部１の長手方向に長い長孔からなる追加ボトルネック挿通孔１ ４ b が形成されている。また、このボトル

ネック挿通孔 1 4 b の短手方向の径は追加するボトル容器のボトルネックの挿脱が容易に行える程度の径としてある。

また、追加ボトルの底面当接部 1 2 と背面当接部 1 1 及び前面当接部 1 3 との境界部分には、それぞれ追加ボトル底部の位置を決めるための位置決め孔 1 2 a, 1 2 b が、追加ボトル保持部 1 の長手方向に直交する方向に細長い長孔として設けられている。

図中符号 1 3 b は広告表示である。この広告表示は前面当接部 1 3 の全面あるいは一部に直接印刷したものとしてもよいし、シール等を貼付したものとしてもよい。

【0020】

ボトルネック係止部 2 a には円形の基側ボトルネック挿通孔 2 1 a が、ボトルネック係止部 2 b には同じく円形の受け側ボトルネック挿通孔 2 1 b が、それぞれ 3 個ずつ追加ボ
10
トル保持部 1 の長手方向と直交する方向に所定間隔を介して形成されている。

ここで、基側ボトルネック挿通孔 2 1 a 及び受け側ボトルネック挿通孔 2 1 b における隣接する孔との所定間隔は、複数個セット包装されたボトルの隣接するボトルネック間の間隔によって定まるものである。

また、基側、受け側の各ボトルネック挿通孔の縁部には放射状に短スリット 2 s が形成されている。この短スリット 2 s によって、各ボトルネック挿通孔をボトル容器 3 のボトルネックに挿通させたとき、各ボトルネック挿通孔の周縁部がボトルネックの肩部に沿うように反り上がって面接触状態になるので、各ボトルネック係止部によるボトル容器 3 への係止状態をより安定させることができる。

なお、この実施例においては、追加ボトルネック挿通孔 1 4 b と受け側ボトルネック挿
20
通孔 2 1 b とを合わせて他側ボトルネック挿通孔 2 4 b が構成されている。

【0021】

図 2 は、第 1 の実施例の使用方法を示す図である。

6 本のボトル 3 が横 3 列×縦 2 列に配置され、公知の包装具 4 によってひとまとまりになるように一体的に包装されている。このとき、複数のボトル 3 のボトルネック部分は外部に露出されている。

この複数本セット包装されたボトルの側方に、この考案のボトル包装具を用いて追加的に 1 本のボトル容器を包装する方法を以下に説明する。なお、この実施例においては、複数本セット包装されたボトルと、追加的に包装するボトルとは同じサイズのボトルとする
30

【0022】

まず、ボトル包装具のボトルネック係止部 2 a に形成された基側ボトルネック挿通孔 2 1 a をそれぞれ対応するボトル 3 のボトルネック部に通してボトルネック係止部 2 a を複数のボトル 3 に係止させる。

【0023】

次いで、追加ボトル保持部 1 の背面当接部 1 1 を真ん中のボトル 3 に沿わせながら垂下させ、追加ボトル底部位置決め溝 1 2 a の位置で前方（ボトル 3 側とは反対側）に折り曲げる。この状態で、追加するボトル 5 を追加ボトル底面当接部 1 2 に載置する。このとき、追加ボトルの底部を位置決め溝 1 2 a 及び 1 2 b に係止させることで容易に追加ボトルの位置を決めることができる。
40

【0024】

追加ボトルの位置が決まったら位置決め孔 1 2 b の位置で前面当接部 1 3 を上方に折り曲げて追加ボトル 5 に沿わせる。

そして、上面当接部 1 4 に形成された追加ボトルネック挿通孔 1 4 b をボトル 5 のボトルネック部に通し、最後にボトルネック係止部 2 b に形成された受け側ボトルネック挿通孔 2 1 b を、それぞれ対応するボトル 3 のボトルネック部に通してボトルネック係止部 2 b を複数のボトルに係止させる（図 3 参照）。

このとき、ボトルネック挿通孔 1 4 b は追加ボトル保持部 1 の長手方向に長い長孔として形成されているので、ボトル 5 のボトルネックを斜め方向から挿脱する際にボトルネック挿通孔 1 4 b の縁部に引っかかることがなく、容易に作業を行うことができる。
50

そして、追加ボトル 5 は、ボトルネック係止部 2 に形成された各ボトルネック挿通孔 2 1 a 及び 2 1 b をそれぞれ対応するボトル 3 のボトルネックに係止させてボトルネック係止部 2 の強度が強い状態で保持されているので、安定した保持状態を得ることができる。

また、追加ボトル前面当接部 1 3 には広告が表示されているので (1 3 b)、需要者に対して、例えば当該ボトル入り飲料を 6 本購入すれば一本おまけとして付いてくる旨のキャンペーン告示などを行って販売促進を図ることができる。

【0025】

この実施例は、横方向に 3 本以上セット包装されているボトルのうちの隣接する 3 本のボトルを用いてその側方に追加ボトルを包装する場合に好適である。

【実施例 2】

【0026】

図 4 は、この考案の第 2 の実施例を展開した状態の平面図である。

この実施例は、ボトルネック係止部 2 a, 2 b の横幅が実施例 1 のボトルネック係止部の横幅よりも小さく形成され、それぞれ各ボトルネック挿通孔 2 1 a, 2 1 b が 2 個ずつ設けられている点以外は、実施例 1 と同じ構成である。

【0027】

この実施例は、図 5 に示すように、横方向に 2 本以上セット包装されているボトルのうち隣接する 2 本のボトルを用いてその側方に追加ボトルを包装する場合に好適である。

この実施例の場合、追加ボトル 5 を、ボトルネック係止部 2 に形成された 2 個のボトルネック挿通孔 2 1 a 及び 2 1 b をそれぞれ対応するボトル容器 3 のボトルネックに係止させて保持するだけでなく、隣接するボトル 3 の間の凹み部に嵌め込むようにしてこれを保持する形とすることができるので、より安定した保持状態を得ることができる。

【実施例 3】

【0028】

図 6 は、この考案の第 3 の実施例の使用状態を示す図である。

この実施例は、複数本セット包装されたボトルより小さいサイズのボトルを追加的に包装する場合の実施例である。

すなわち、追加ボトル保持部 1 の寸法を追加するボトル 5 のサイズに合わせて小さくした以外は、実施例 1 の構成と同じである。

この実施例では、図 6 に示すように、追加されるボトル 5 は宙づり状態で保持されることとなる。

また、この実施例の他の形態においては、追加ボトル保持部 1 の寸法以外の構成部分に実施例 2 の構成を採用することもできる。

【実施例 4】

【0029】

図 7 は、この考案の第 4 の実施例を示す図である。

この実施例は、第 1 の実施例における追加ボトルネック挿通孔 1 4 b と複数の受け側ボトルネック挿通孔 2 1 b とを一つ他側ボトルネック挿通孔 2 4 b として構成したものであり、その他の構成は第 1 の実施例と同じ構成である。

【実施例 5】

【0030】

図 8 は、この考案の第 5 の実施例を示す図である。

この実施例は、第 1 の実施例における複数の受け側ボトルネック挿通孔 2 1 b を一つの受け側ボトルネック挿通孔 2 1 b として構成したものであり、その他の構成は第 1 の実施例と同じ構成である。

【産業上の利用可能性】

【0031】

この考案は、複数本セット包装されたボトルの側方に 1 本のボトルを追加して包装するためのボトル包装具に関するものであって、産業上の利用可能性を有するものである。

【図面の簡単な説明】

10

20

30

40

50

【0032】

【図1】この考案の第1の実施例を展開した状態の平面図

【図2】同じく使用方法を示す図

【図3】同じく使用状態を示す図

【図4】この考案の第2の実施例を展開した状態の平面図

【図5】同じく使用状態を示す図

【図6】この考案の第3の実施例の使用状態を示す図

【図7】この考案の第4の実施例の使用状態を示す図

【図8】この考案の第5の実施例の使用状態を示す図

【符号の説明】

10

【0033】

1 追加ボトル保持部

1 1 背面当接部

1 2 底面当接部

1 2 a, 1 2 b 位置決め溝

1 3 前面当接部

1 3 b 広告表示部

1 4 上面当接部

1 4 b ボトルネック挿通孔

2 a, 2 b ボトルネック係止部

2 1 a 基側ボトルネック挿通孔

2 1 b 受け側ボトルネック挿通孔

2 4 b 他側ボトルネック挿通孔

2 s 短スリット

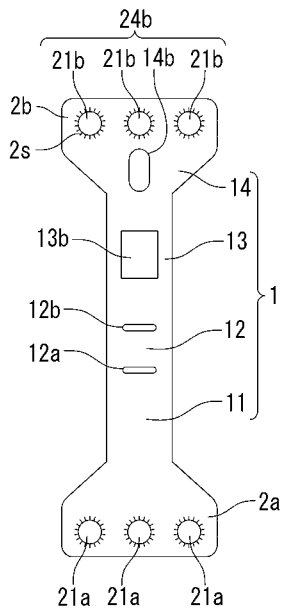
3 ボトル

4 公知の包装具

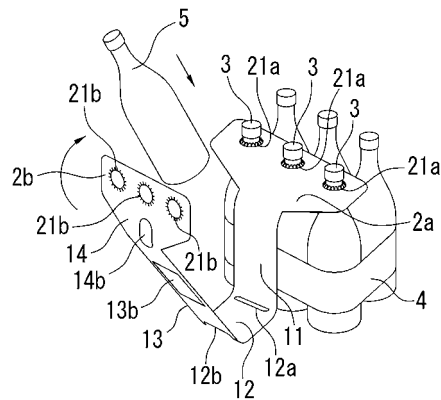
5 追加ボトル

20

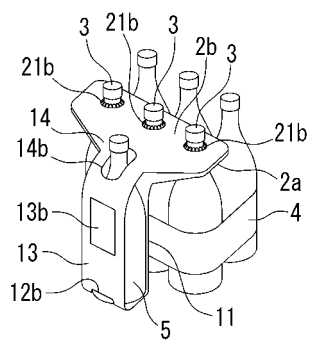
【 図 1 】



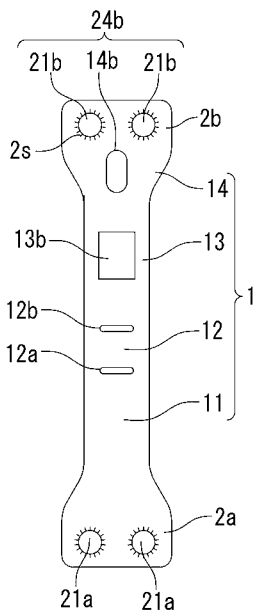
【 図 2 】



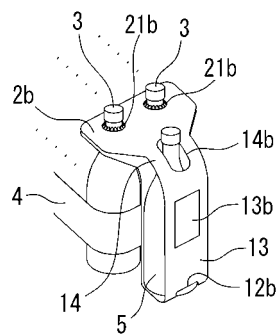
【 図 3 】



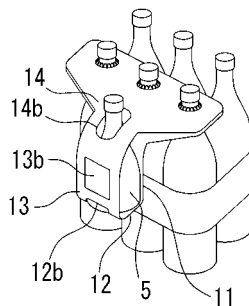
【 図 4 】



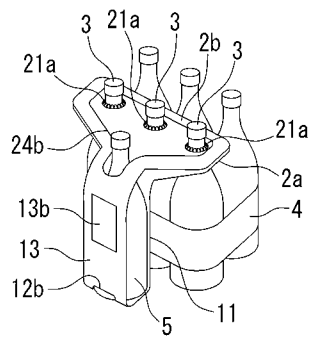
【 図 5 】



【 図 6 】



【図 7】



【図 8】

